



夏期は10月21日まで休まず開園しています

ASAHIYAMA Zoo

発行所
動物資料展示館
旭川市
旭山動物園
☎ 36-1104

動物舎によって飼育展示係の工夫もさまざま。アイデアたっぷりの展示にも注目です



発電機を組み立てています。「博士と助手の実験コーナー」体験型の展示がまもなく始まります



骨を洗い出す作業はとっても細かく地道な作業。飼育展示係の根気が光ります。



ペンギンの卵のレプリカ。型を作って、樹脂を流して完成まで1週間以上の時間がかかります



卵の標本づくりの様子です。生まれてすぐのものは特に繊細。実体顕微鏡で細かな所まで気を配りながらピンセットで取り出します。



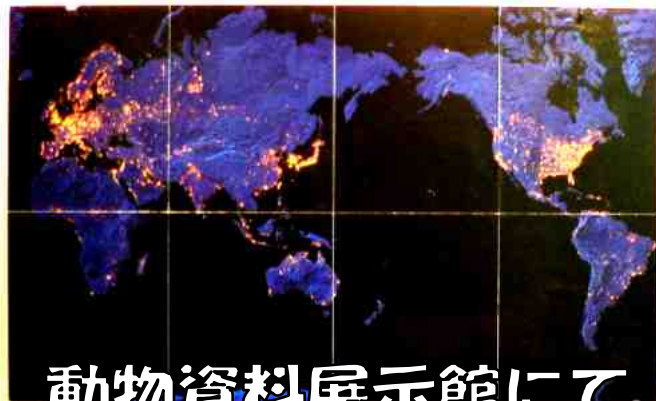
ここに小さな胚が見えます。

みんなに届け、動物たちの「スゴイ!!」

それぞれの動物舎では、動物たちの「スゴイ!!」をさらに感じてもらえるよう工夫しながら展示しています。

発信している情報は、飼育展示係から皆さんへ思いを込めたお手紙です。1人でも多くの人に見てもらえるよう、看板や模型は大切にしてくださいね。

地球温暖化展



動物資料展示館にて
7月1日まで開催中

開園と同時に、動物資料展示館では「地球温暖化展」がはじまりました。このパネル展では、色鮮やかな世界地図が皆さんを出迎えます。その横には「これを美しいと思っはいけない」とのコメントが。実は、この地図は人工衛星からみた地球の様子です。この明るく輝いているように見えるところは、経済が活発で地球温暖化を進めている地域なのです。黒い海に日本列島がくっきりと鮮やかにみえます。

地球温暖化をくいとめるために、私たちに今すぐできることを飼育係の手作りパネルで提案し、旭山の実践を紹介しています。また、環境財団と連携して、エコグッズの展示も行っています。ぜひお越しください。

ほねほねパネルクイズ&模型



園内のいたる所にある、「ほねほねパネルクイズ」はもう解けましたか？これはペンギン館やちんぱんじー館・小動物舎・さる山などで見られます。歯のならびや形を見て動物たちのこと知ってみましょう。場所によっては実際にさわれるものもあります。裂けた肉歯の鋭さや、鳥の足裏のウロコの細かさ・羽毛のやわらかさなど手にとって感じてみてください。

動物たちと見比べて、



卵の中をのぞけます！

たためており、卵のなかではヒナが育っています。卵を温めはじめたのは5月2日。皆さんが見る時にはどこまで成長しているのでしょうか？標本を観察しながら、卵の成長を楽しみにしててください。

飼育展示係の解説でさらに詳しく



第二こども牧場では、13時15分〜14時15分の間、屋内も見られるようになっていきます。ここで、新たな展示が始まります。卵標本の展示です。アヒルやニワトリが卵の中で、どのように成長しているのかが見られるようになっていきます。最初は、ほんの数ミリの命だったものが日を追うごとに成長している様子がわかります。その横では孵卵器でアヒルとニワトリの卵をあ



動物たちを守るためには 身近な自然から

「カラス」って名前のカラスはいないんだよ。このカラスはハシフ・カラスっていいね。



実際にさわってみよう

新企画「感じて！身近な自然を学ぶ会」が始まりました。地球温暖化の影響や、開発などにより、すみかを失っている野生動物たちがいます。野生のホッキョクグマやペンギンたちを助けるためにはどうすれば良いのでしょうか？ 私たちにできることは、まずは身近な自然を大切にすることからはじめます。そこにヒントがあるのです。その企画として、第一弾の野鳥・草花観察会は5月13日に行われました。この日はあいにくの雨にもかかわらず、約19種の野鳥の声や姿と早春の草花を観察できました。次回は7月7日のフクロウ観察会です。こちらのお申し込みは6月20日からです。どうぞお楽しみに。

前月の20日から
受付開始
0166-36-1104

フクロウ観察会
7/7

8/7
昆虫を探す会

木の実を探す会
10/7

12/9
冬芽・動物の足あとを探す会